

舞鶴市地域産業連関表の作成について

1. 舞鶴市地域産業連関表の作成経緯及び特徴

産業連関表とは、国や地域における1年間の各産業間の取引を一覧表にしたもので、その国や地域の経済構造を読み取ることができる統計表である。

従来から、舞鶴市にも「工業統計」や「商業統計」、「農業センサス」、「漁業センサス」といった産業別の統計資料はあるが、それらが地域内で、どのような相互関係にあるのかを表したものが今回作成した地域産業連関表である。

この産業連関表の作成には、高度の知識と膨大なデータ処理を要するため、通常、市町村レベルでは、都道府県のデータからの按分により推測する「簡便法」で作成されるが、今回、本市では、学术交流協定を締結している立命館大学との共同研究として作成に取り組み、独自の「移出・輸出実態調査」等、精度を上げる研究を行い、「簡便法」で作成したものと比べ精度の高いものとなっている。

2. 舞鶴市地域産業連関表からわかること

表1 舞鶴市産業連関表

(単位：百万円)

		中間需要				最終需要			需要合計	輸移入 (控除)	市内 生産額
		第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	合計	市内 最終需要	輸移出	合計			
中間 投入	第1次産業	1,442	7,573	996	10,011	3,045	3,156	6,204	16,215	-3,661	12,554
	第2次産業	2,673	108,211	43,115	153,999	127,102	214,557	341,658	495,657	-169,511	326,147
	第3次産業	1,994	68,422	91,737	162,153	241,955	60,233	302,188	464,342	-82,386	381,956
	計	6,109	184,205	135,849	326,163	372,102	277,946	650,050	976,214	-255,557	720,656
粗付 加価値	雇用者所得	775	66,641	138,914	206,330						
	営業余剰	4,277	34,883	51,972	91,131						
	その他	1,393	40,417	55,222	97,032						
	計	6,445	141,941	246,107	394,493						
市内生産額		12,554	326,147	381,956	720,656						

横方向に見る

縦方向に見る

産業連関表を縦方向に見ると、1年間の舞鶴市内における総生産額が約7,207億円であり、その内訳は、第1次産業が100億円、第2次産業が1,540億円、第3次産業が1,622億円、その他、雇用者所得や営業余剰等が約3,945億円であることがわかる。

次に横方向に見ると、市内産業の総需要額が9,762億円となっており、総生産額7,207

億円との差、約 2,556 億円を市外から購入しているという舞鶴市の経済構造がわかる。

また、この産業連関表から導き出される各種の係数から、

- 舞鶴市全体の総需要額に対する市内生産額の割合「自給率」は 63.4% であること
- 経済波及効果が市内に留まる「市内歩留率」は 66.3% で、残り 33.7% は市外へ流出していること（「市外流出率」）

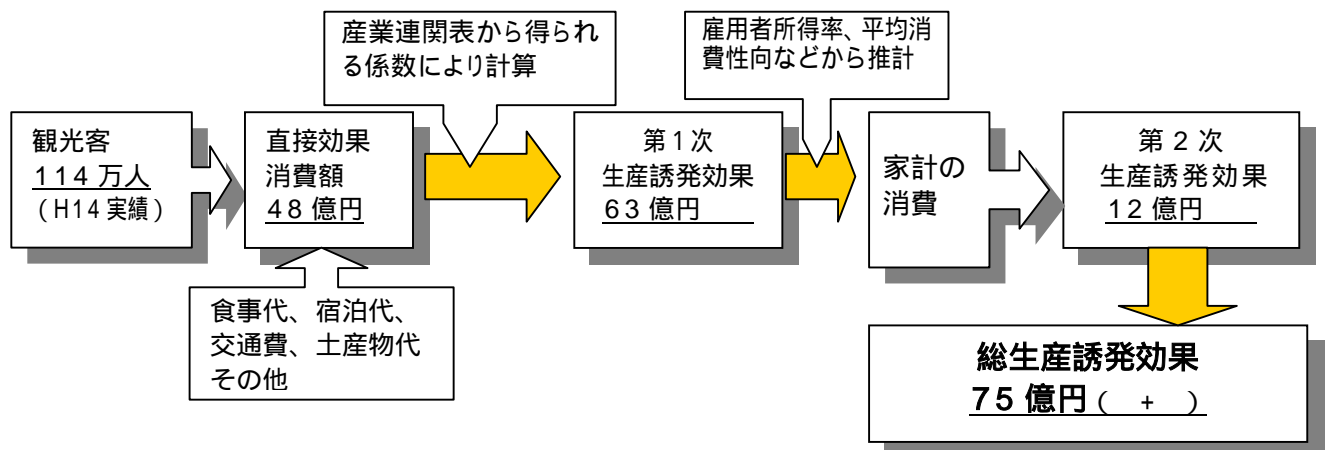
などがわかる。

さらに、各産業ごとに、他の産業に与える影響力の大きさがわかる「影響力係数」や、他の産業から受ける影響力の大きさがわかる「感応度係数」が明らかになる。

これらの係数を使って、ある産業に需要が発生した場合、市内の各産業への直接・間接の影響を分析することができ、これにより様々な事業の「経済波及効果」を測定することが出来る。

3. 舞鶴市地域産業連関表を用いた分析事例（観光産業による波及効果）

（1）舞鶴市の観光入込客 114 万人（H14 年度実績）による経済波及効果の試算



（2）観光基本計画の目標値 160 万人（目標年度：平成 23 年）を達成したと仮定した場合の経済波及効果の試算

